

PLAZA IMS

夏  
2008/8月  
Vol.10(夏号)

プラザイムス

イムス三芳総合病院

## 院長就任のごあいさつ

この度、渡辺健院長が退職され、後任として私が院長に就任することになりました。振り返れば、6年前に当院へ異動となり、泌尿器科を開設。最近では、一ヵ月間の患者さまの外来受診数が延べ900人前後と、ようやく地域の患者さまの信頼を得たことを実感しております。当院も時代の流れの中で、新しい病院の在り方を模索する必要に迫られており、数年前より地域医療に貢献できる中核病院への脱皮を目指し、改革を進めております。総合病院として、人工透析センター、耳鼻科及び小児科の開設。結石破碎装置の導入、小児科の休日診療開始、さらに院内のリフォーム、サービス向上及び安全な医療を行うためのスタッフ教育、最新医療機器並びに緊急医療の充実など、一般病院として、患者さまのニーズに応えられるように日々努力を続けております。しかし何分にも急激な改革のため、スタッフの士気、対応が追いつかず、不手際により患者さまに御迷惑を掛けることも多々あり、御不満な点もあるかと思えます。これからは私が先頭に立ち、患者さまの病院への御要望に配慮しながら、病院スタッフ一丸となって、患者さまの安心、信頼、満足を合言葉に、全力で病院改革に取り組んで行きたいと考えております。イムス三芳総合病院の発展を長い目で温かく見守って戴ければ幸いです。

今後とも何卒宜しく願い申し上げます。



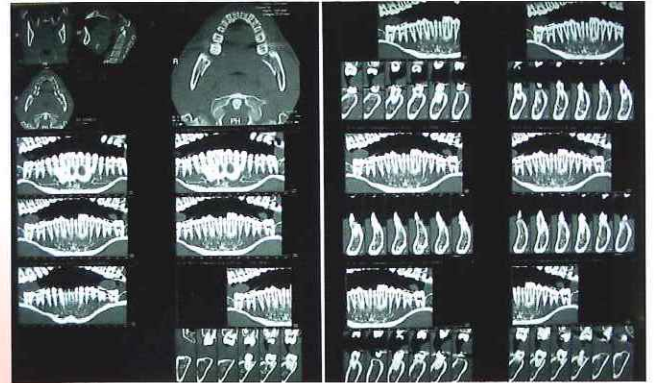
院長 石田 規雄

# 「より速く、より広範囲を、より細かく」、最新鋭の画像診断装置。 64列マルチスライスCTのご紹介

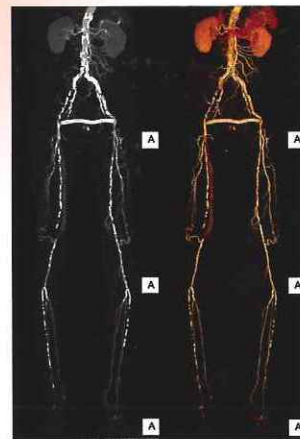
64列マルチスライスCTの最大のメリットは撮影の高速化です。1ブレス(1回の息止め)で広範囲を短時間で撮影が可能になり、高精細なボリュームデータの収集による、血行動態の把握、矢状断像、冠状断像での病変評価に有用です。

多断面の再構成画像であるMPR(multiplanar reconstruction)法を用いることで、病変の局在診断がより正確に診断できるようになり、MIP(maximum intensity projection)法や、VR(volume rendering)法で再構成したCTangiography(CTA)では、末梢血管まで精細に描出することができます。従来、心臓領域の検査は冠動脈造影検査(カテーテル検査)によりなされてきましたが、64列マルチスライスCTでは、1回の息止め(約7秒以内)で撮影ができるなど、従来のカテーテル検査に比べて患者さまの負担は大幅に軽減されます。

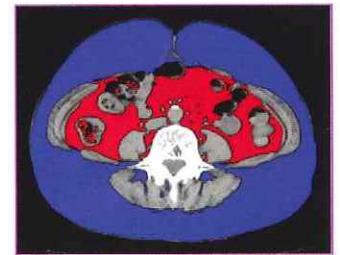
また、冠動脈の形態や心機能の情報を得ることもできます。脳CT検査(CTperfusion)では、短時間で簡便に局所脳血流を評価可能で、脳血流量、脳血液量などの各種カラーマップが得られます。内科、外科、脳神経外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、整形外科、小児科、眼科などさまざまな領域で、また体脂肪面積計測や歯科領域ではインプラント術前検査で神経管と歯根の位置関係を明確に抽出できるなど、高精度な画像診断を可能とします。



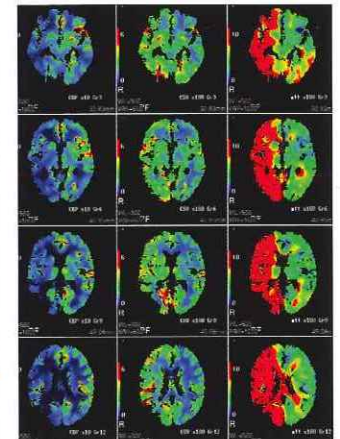
歯列に沿ったCPR表示及び距離、角度計測



下肢血管像



体脂肪面積計測



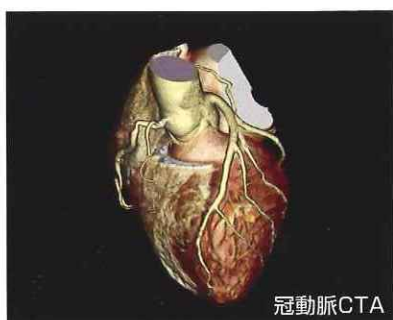
脳血流解析(灌流状態の評価)



頭、頸部血管像



冠動脈解析



冠動脈CTA



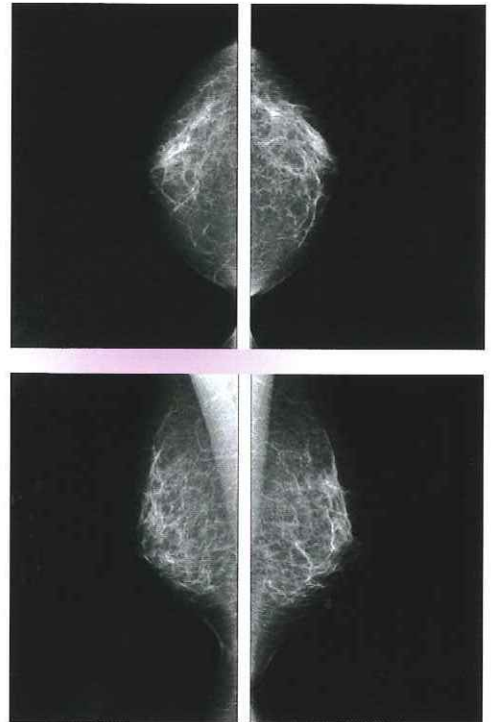
マルチスライスCT

## 増加傾向にある乳がん、手後れにならないために早期検診を!! マンモグラフィのご紹介

マンモグラフィとは、乳がんを診断する方法のひとつで、乳房専用のレントゲン撮影です。乳房を挟みながら圧迫して、上下方向、左右方向から撮影します。マンモグラフィでは、触診ではわからないほどの小さな腫瘍や非常に細かい石の粒(微細石灰化)などで、乳がんを見つけたりすることができます。

日本で乳がんにかかる人は、欧米に比べて少ないとされてきましたが、ライフスタイルの変化にともなって、年々増加傾向にあります。現在では、30~60代の女性の約20人に1人が乳がんになるといわれています。なんと、日本は、先進国において唯一、乳がんによる死亡者数が増えている国でもあります。これはひとえにマンモグラフィ検診の受診率の低さが原因と考えられています。マンモグラフィ検診は痛い!乳がん検診は怖い!と敬遠されていらっしゃる方、乳がん自体は早期に発見できて適切な治療を受ければ95%以上が治ります。家庭においても、社会においても、最も頼りにされる年頃の女性がなりやすいだけに、転ばぬ先の杖として、ぜひともマンモグラフィ検診を受けましょう!

外科 新田 真吾



マンモグラフィ (正常)

マンモグラフィ

## 職場紹介 リハビリテーション科

患者さまの病状に合わせて、効率よいリハビリを行います。

理学療法士は、患者さんの基本的身体運動機能(腕や足を曲げたり伸ばしたり、立ったり座ったり、歩いたり、走ったりなどの様々な動作機能)を回復させ、速やかに社会生活を取り戻せるように治療を行います。

作業療法士は、患者さんの状態や生活環境、価値観、嗜好などに合わせ、必要な日常生活



能力を身に着ける練習をします。その方に合った作業(手仕事、遊び等)を治療に取り入れたり、道具を使いやすいように工夫したりします。言語聴覚士は、コミュニケーションの面から豊かな生活が送れるよう、言葉や聴こえに問題をもつ方とご家族を支援します。また、摂食・嚥下の問題にも専門的に対応します。

## 特定健診・特定保健指導のご案内

食生活の変化と運動不足により、働き盛り層を中心にメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の人が増えています。今後、高齢化と生活習慣病のさらなる増加により医療費が大幅に増加する見込みです。このような状況から、生活習慣病になる人を1人でも減らす為に、平成20年度より、『特定健診』とそれに伴う『特定保健指導』が健康保険組合や市町村(国民健康保険)によって始まります。【受診券が発行されます】

**健診期間：平成20年7月1日(火)～11月29日(土)**

**負担金：1000円**

**持参するもの：保険証・受診券・診察券(受診歴のある方)**

**受付時間：月～金(AM8:00～12:00 PM 1:30～4:30) 土(AM8:00～12:00)**

**健診を受けられる当日は、食後10時間空けてお越し下さい。**

### 特定健診

40歳以上74歳以下の  
三芳町・富士見市・ふじみ野市在住の方

1、質問表	問診・服薬歴・喫煙歴等
2、身体検査	身長・体重・BMI・腹囲
3、血圧測定	
4、血液検査	脂質検査・血糖検査・肝機能検査
5、検尿	糖・蛋白
6、心電図	

### 各種検診

検診名	対象者	負担金
肺がん検診	40歳以上で一定要件	500円 (喀痰あり1000円)
大腸がん検診	40歳以上で一定要件	500円
乳がん検診	30歳以上で一定要件	400円
肝炎ウイルス検診	40歳、41歳で未受診者	なし

### 特定保健指導

健診結果によってメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)など、生活習慣病のリスクの高いグループとその予備軍を抽出し、リスクによって3段階の階層に分けて、生活習慣病の予防を目指す指導を行うものです。

10.11月は例年大変混雑します。  
7.8.9月の早めの受診をお勧めいたします。

イムス三芳総合病院 特定健診・保健担当係まで  
TEL.049-258-2323



### 皆様の声を聞かせてください!

イムス三芳総合病院では、よりよい病院づくりをすすめるため、患者様・地域の皆様のご意見を募集しています。ご意見は下記FAX、E-mailまたは院内総合受付欄に設置のアンケートBOXまで。皆様の貴重なご意見をお待ちしております。

FAX : 049-274-7016

E-mail : renkei.mkh@ims.gr.jp

イムス三芳総合病院 広報誌  
Plaza ims(プラザイムス) Vol.10 2008.8  
発行/イムス三芳総合病院 地域医療連携室  
発行日/2008年8月  
〒354-0041 埼玉県入間郡三芳町藤久保266-1  
医療法人社団明芳会 イムス三芳総合病院  
TEL049-258-2323  
http://www.ims.gr.jp/miyoshisougou/